

2018年2月28日

医学物理士臨床研修インテンシブコースを終えて

JA 秋田厚生連 由利組合総合病院 菅原 康紘

2017年10月より、新潟大学医歯学総合病院にて医学物理士臨床研修インテンシブコースを受講させていただきました、JA 秋田厚生連 由利組合総合病院の菅原康紘と申します。

まず、はじめに秋田県からの応募となりましたが、このような機会をいただけた事に非常に感謝しております。医学物理士としての臨床研修の場は、全国的に少なく、さらに一度社会に出てから医学物理士資格を取得した者にとってはその機会がさらに限られます。そのような状況の下、昨年より新潟大学にて医学物理士臨床研修インテンシブコースが開設されました。医学物理士として高精度放射線治療の教育を受けたいと切望していた私にとっては非常に魅力的なプログラムであったことから、この度、応募させていただきました。

私自身、診療放射線技師として社会に出て13年目になりますが、強度変調放射線治療の経験がなく、また他県からの通学になる事から、応募時は不安が大きかったのですが、一步踏み出して良かったと心より思っております。

このような機会を与えて下さいました、新潟大学医学部放射線医学教室 教授 青山英史先生、医学物理士 宇都宮悟先生、棚邊哲史先生、新潟大学医歯学総合病院放射線治療科のスタッフの皆様、誠にありがとうございました。

研修内容としましては、インテンシブコースのカリキュラムにもある通り、強度変調放射線治療についての講義・放射線治療計画 (IMRT/VMAT) ・Patient QA の実習が主な内容でしたが、何に重点をおいて学びたいか意向を取り入れて下さりました。私は、IMRT/VMAT の経験がなかったため、基礎から研修させていただきましたが、経験豊富な先生の下、研修生の要望・力量に合わせて研修を進めていただける点は、私の様な初心者でなくとも有意義な研修を行える環境が整っていると感じました。

はじめて学ぶ内容も沢山ありましたが、臨床・教育の現場の第一線で活躍する宇都宮先生、棚邊先生の下で臨床研修を受けさせていただき、これまで培われてきた技術をご教授いただきまして、非常に勉強になりました。また、朝夕の

症例検討会にも参加させていただきましたが、放射線腫瘍医の先生と医学物理士の距離が近く、様々な症例に対して色々な視点から議論を重ねている姿には、感銘を受けました。

今後は、この度の研修で得た知識と貴重な経験を大いに活かし、秋田県での高精度放射線治療の普及と発展に少しでも貢献できるよう尽力したいと思っております。しかしながら、まだまだ未熟な故に、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

最後になりますが、ご多忙の中にもかかわらず懇切丁寧なご指導をいただきました新潟大学医歯学総合病院放射線治療科の先生の皆様並びに、研修に送り出して下さりました、由利組合総合病院のスタッフに深く感謝申し上げます。